



平成 21 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名 トランスコスモス株式会社
(登記社名：トランス・コスモス株式会社)
代表者名 代表取締役社長兼COO 奥田 昌孝
(コード番号 9715 東証第一部)
問合せ先 執行役員経理財務本部担当 本田 仁志
TEL 03-4363-1111 (代表)

当社子会社（応用技術株式会社）の特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である応用技術株式会社が特別損失を計上するとともに平成 21 年 12 月期の第 2 四半期累計期間（連結・個別）及び通期（連結・個別）業績予想について別紙のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、これによる当社の連結業績への影響は軽微であります。

以 上

「別紙」

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ
(平成 21 年 8 月 13 日公表 応用技術株式会社)

平成 21 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名 応用技術株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 谷 澤 寿 一
 (JASDAQ・コード4356)
 問 合 せ 先 常務取締役コーポレート推進本部長 前 原 夏 樹
 電 話 番 号 06-6373-0440 (代表)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、当第2四半期連結累計期間（平成21年1月1日～平成21年6月30日）において、特別損失を計上いたしますので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績動向を踏まえて、平成21年2月27日付「平成20年12月期決算短信」において公表いたしました平成21年12月期の第2四半期累計期間（連結・個別）及び通期（連結・個別）業績予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及び内容

当社で実施しておりますエンジニアリングサービス事業及びソリューションサービス事業の一部(オンサイトサービス)については、継続的に営業損失を計上しており、また当面は厳しい事業環境が継続するものと考えられます。現時点では十分な将来キャッシュフローの獲得が見込めないことから、上記事業に属する固定資産について、減損損失32百万円(連結・個別とも同額)を計上いたします。

2. 平成21年12月期第2四半期累計期間（平成21年1月1日～平成21年6月30日）業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,700	35	35	19
今回修正予想 (B)	2,543	4	4	△56
増減額 (B-A)	△156	△30	△30	△75
増減率 (B-A) / (A)	△5.8%	△86.4%	△88.1%	—
前期実績 (平成20年6月期)	2,663	85	89	21

(2) 個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	1,500	10	10	7
今回修正予想 (B)	1,259	△61	△59	△93
増減額 (B-A)	△240	△71	△69	△100
増減率 (B-A) / (A)	△16.0%	—	—	—
前期実績 (平成20年6月期)	1,397	△14	△10	△37

(3) 修正の理由

[連結業績]

システムインテグレーション事業を実施している連結子会社、株式会社トランスコスモス・テクノロジーズの業績が、経営資源の集中効果等により、売上高、利益面ともに当初予想を上回る予定ですが、後述する個別業績のマイナス分をカバーすることはできず、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益とも当初予想を大幅に下回り、また減損損失を計上したため四半期純損失は56百万円となる見通しです。

[個別業績]

景況感の急速な悪化により、製造業向けソリューション、GIS関連業務、エンジニアリングサービス等、当社主要事業全般において受注が低迷いたしました。またオンサイトサービス等新規事業も計画未達成となり、売上高は当初予想を16.0%程度下回る見込みです。

また、営業利益及び経常利益につきましては、売上原価、販売費及び一般管理費の圧縮に務めましたが、全般的に受注が低水準で推移した結果、生産部門の稼働率が低下したことにより、当初予想を大幅に下回り営業損失及び経常損失を計上する見込みです。加えて、減損損失の計上を行ったため、四半期純損失は93百万円となる見通しです。

3. 平成21年12月期通期（平成21年1月1日～平成21年12月31日）業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,500	100	100	68
今回修正予想 (B)	4,900	△130	△125	△200
増減額 (B-A)	△600	△230	△225	△268
増減率 (B-A) / (A)	△11.0%	—	—	—
前期実績 (平成20年12月期)	5,209	64	65	△49

(2) 個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,000	50	50	44
今回修正予想 (B)	2,300	△220	△215	△250
増減額 (B-A)	△700	△270	△265	△294
増減率 (B-A) / (A)	△23.3%	—	—	—
前期実績 (平成20年12月期)	2,644	△132	△127	△157

(3) 修正の理由

[連結業績]

システムインテグレーション事業を実施している連結子会社、株式会社トランスコスモス・テクノロジーズの業績は、当初予想どおりですが、後述する個別業績の見通しが厳しく、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも当初予想を修正するものです。

[個別業績]

現状、製造業向けソリューションを中心にソリューションサービスの受注が回復基調にありますが、エンジニアリングサービス及びオンサイトサービス等の新規事業については、当面は厳しい状況が継続する見込みです。このため、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも当初予想を修正するものです。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上